

函館山の麓、西部地区からまちづくりと一緒に!

はこまち通信 クーポラ

2022.10

vol. 62

まちセンの建物が2023年で
100周年を迎えます(詳細はP2)



#はこだて暮らし 移住オンラインフォーラム(全4回)を期間限定公開!(詳細はP6)

まちづくりセンター公式
YouTubeチャンネル ▶



移住オンラインフォーラム #はこだて暮らしセミナー 8/4(木)開催

ゲストの株式会社蒲生商事 谷口さん(左)、はこだて暮らしコンシェルジュ 谷口(右)

まちづくり、市民活動、各種助成金、
移住・定住に関する問い合わせなど、
お気軽にご相談ください。

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

●まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページをご覧ください。

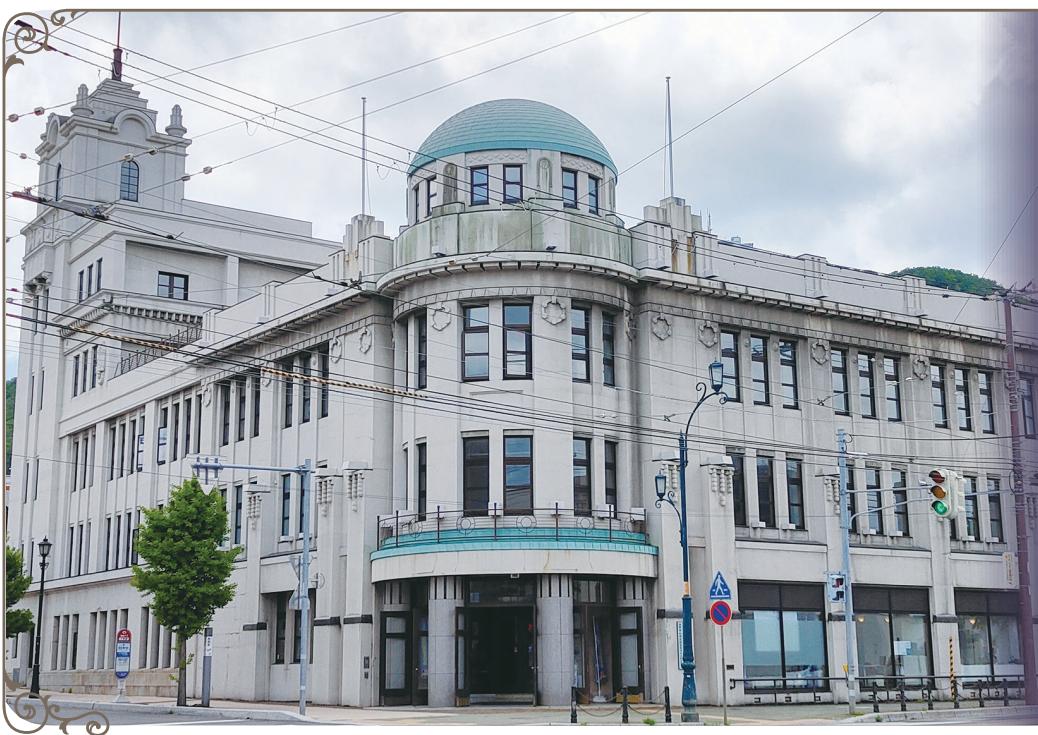
発行／函館市地域交流まちづくりセンター

<https://hakomachi.com>



「函館市地域交流

まちづくりセンター」の建物は
2023年で100周年を迎えます。



改めて主な歴史を振り返り

丸井今井の時代

1923～1969

1923(大正12)年

鉄筋コンクリート3階建で建築

1930(昭和5)年

3階建から5階建に増築

1934(昭和9)年

函館大火により類焼、耐火構造で再建

1969(昭和44)年

丸井今井百貨店が本町(五稜郭地区)に移転



市役所分庁舎の時代

1970～2002

1970(昭和45)年

函館市役所分庁舎として使用

1989(平成元)年

函館市の「景観形成指定建築物等」に指定

映画やドラマのロケ地としてたびたび使用されるように

大規模改修へ

2005～2007

建物の老朽化等による安全性の問題から

「外観の保全」「安全性の確保」を図るため改修工事を行う

地域交流 まちづくりセンター の誕生

2007～

まちづくりセンターは
地域の方も観光でお越しの方も
どなたでもご利用いただけます

[主な役割]

- ◆NPO・市民活動団体の相談・支援の場、
活動の拠点
- ◆地域住民の交流の場
- ◆まちづくりを担う人々の意識を高める活動
- ◆情報発信
- ◆移住者支援

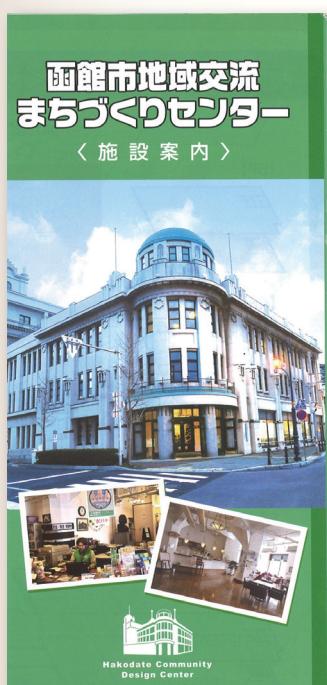
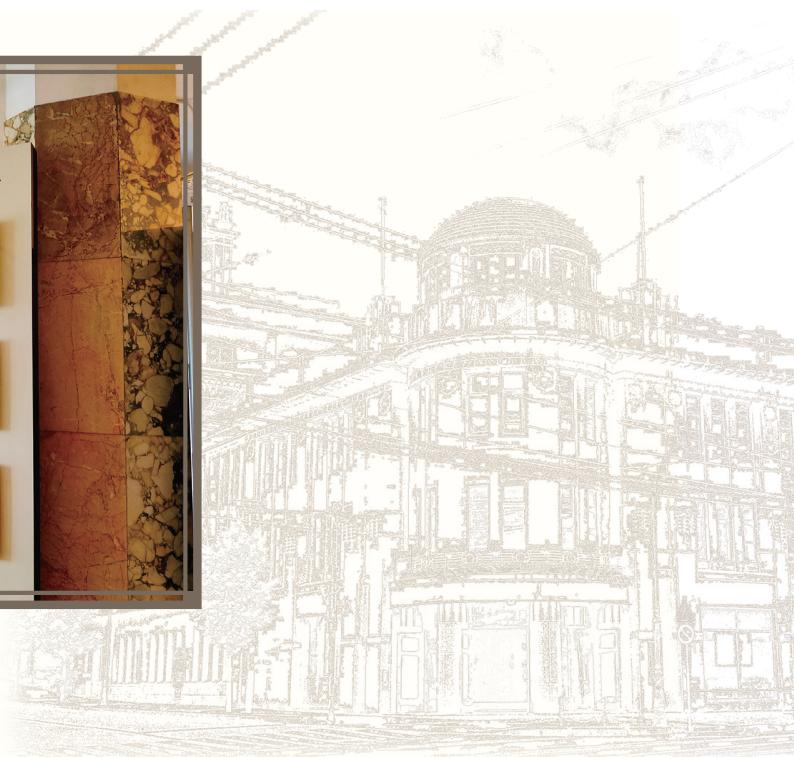




写真で振り返る建物の歴史



▲まちづくりセンター1階に設置のパネル『まちゼン歴史コーナー』
どうぞご注目ください。



◆まちづくりセンターのリーフレットにも
建物の歴史や支援についての記述があります。
お越しの際はどうぞお手に取ってご覧ください。



函館山の麓、西部地区によみがえったこの空間を活用するのはみなさんです。
「2023年、100周年を迎えるこの場所で、仲間と協力してこんなイベント（活動）をやってみたい」
など、新たなアイディアをお持ちの方はいらっしゃいませんか？
感染症対策なども含め、まずはお気軽にご相談ください。



函館市地域交流まちづくりセンター ☎0138-22-9700 <9:00~21:00 土日祝日も開館>



トイレ・休憩だけの利用もOK

小中高生さんいらっしゃい！

学校関係者のみなさんにお知らせ

歴史的建造物まちセンで、
函館の歴史やまちづくりについて
ふれたり学んだりしてみませんか。

宿泊研修、地域探究学習、自主研修等で西部地区を訪れる予定のみなさん。日程が決まりましたら、まちセンにもご相談を。



研修・校外学習時の
函館まちセン活用ガイド



まちづくりセンター公式
YouTubeチャンネルで
ご紹介しています▶



<当館のレトロなエレベーター>

1934(昭和9)年3月の函館大火後に設置された東北以北最古のもので、蛇腹の扉が印象的な手動制御式のエレベーターです。

搭乗をご希望の方は、感染症対策をご覧の上、1階インフォメーションまでお声がけください。



詳しくはこちら▶

行政視察のお問い合わせも受付中！

全国各地から行政視察の受け入れを再開しています。

お申し込み・お問い合わせは

函館市議会事務局

☎0138-21-3754 まで



感染症対策をとって受け入れをしています



Hakodate Community Design Center vol.62 2022年10月

インターン希望の大学生のみなさんも、まずはお気軽にご相談ください。



函館・道南の市民活動団体トピックス

私もやってみたい!
一緒に応援しませんか?

函館・道南で活動する市民活動団体の最新情報をお届けします。広報誌クーポラ掲載希望の団体も随時募集中!まちづくりや市民活動に興味をお持ちの方はまちセンまで。もしくは直接、それぞれの市民活動団体までお問い合わせを。

- ✿ 団体の会員になって共に活動したい方
- ✿ ボランティア活動に興味がある学生の方や一般の方
- ✿ 団体の活動を物資や資金面で支援したい方
- ✿ 市民活動団体と協働で取り組みたい方
- ✿ 地域を支える人を取材したい学生・メディアの方



NPO法人 くりの木

4月にオープンした「サロン・ド・カフェくりの木」では、お茶やランチの提供をスタート。家庭的なムードが口コミで評判です。感染症対策を行いながら集いの場づくり、買い物サロン等の支援活動を継続しています。ボランティアも随時募集中です。

テーオーデパートで開催のバザーの様子(2022年8月)▶

集いの場+カフェをオープン!



▲団体HPは
こちら



一般社団法人 ワールズ・ミート・ジャパン

8/5(金)～8/7(日)の3日間の日程で、3年ぶりに開催されました。飲食店やボランティア向けの事前ミーティングもオンラインを併用してすすめられました。引き続き次年、第016回の開催に向けて支援を募っています。興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

事前の説明会やミーティングも3年ぶりに開かれました(会場:地域交流まちづくりセンター)▶

はこだて国際民俗芸術祭、元町公園で開催!



▲団体HPは
こちら

飛び出せ まちセン!

～団体訪問はじめました～

まちセンスタッフがみなさんの活動場所や事務所等を訪問します。活動の悩み・PRや広報・感染症対策・新たな取り組みなど、お気軽にご相談ください。

制限がある今だからこそ、
地域には NPO・市民活動団体の
活動が必要です。



最大限の対策を行って

緊急時には柔軟に判断して

活動を止めない



市民活動団体の
みなさん!

函館道南のNPO・市民活動をサポートする地域交流まちづくりセンターにご相談ください

北海道の市民活動の継続に向けて

北海道内中間支援組織「コロナアクション」

2021年8月11日付の関連ページはこちら▶



新型コロナウイルス感染症対策活動団体

支援協議会

こちら▶

<https://covid-19.npoproject.hokkaido.jp/>





#はこだて暮らし オンラインセミナー開催

全4回にわたって開催しました『移住オンラインセミナー』の動画を期間限定で公開します。当日参加できなかつたみなさんも、ゲストのお話を聞けるチャンスです！

◆このような方におすすめの動画です

- 函館への移住・Uターン・二拠点生活を検討している
- テレワークを検討している
- テーマ（体験談・住まい・仕事・子育て）に関心がある
- 自然と共に暮らす生活に関心がある など

まちづくりセンター公式
YouTubeチャンネル ▶



7/28(木)
函館市役所
西川さん



移住サポートセンター▲
(函館市地域交流まちづくりセンター内)



8/4(木)
株式会社蒲生商事
谷口さん



函館市への移住相談窓口「移住サポートセンター」は、移住を検討中の方はもちろん、函館に移り住んだあともご相談に応じています。ご相談方法は4つ（[ご来館・お電話・メール・オンライン](#)）です。みなさんの「はこだて暮らし」が豊かになりますように。

移住サポートセンター（函館市地域交流まちづくりセンター内）へお問い合わせ下さい。



配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポラ』2022年10月 vol.62

- 発行／函館市地域交流まちづくりセンター
- 住所／〒040-0053 北海道函館市末広町4-19
- TEL／0138-22-9700
- FAX／0138-22-9800
- 開館／9:00～21:00
- 休館日／12月30日～1月3日

<https://hakomachi.com>



このほか器材点検のため月1回程度、臨時休館する場合があります。
詳しくはセンター内やWebでお知らせしています。



建物裏手に駐車場あり。
2時間まで無料。

指定管理者／
NPOサポートはこだてグループ
(2007年4月～)

『はこまち通信クーポラ』編集室だより

NPOまつり・移住セミナーを開催致しました。
どちらもオンラインを活用した情報発信・情報共有をみなさまとしました。これからもコミュニケーションを活性化させる方法や市民活動団体のニーズに応じた方法をみなさまとともに考え進めています。

（編集長／谷口 真貴）

●主な配布先（敬称略）

函館市役所1F／亀田支所／湯川支所／銭亀沢支所／戸井支所／恵山支所／榎法華支所／南茅部支所／函館市中央図書館／渡島総合振興局／函館市企業局アクロス十字街／総合保健センター／函館市民会館／函館アリーナ／函館市女性センター／函館市青年センター／函館市公民館／函館コミュニティプラザGスクエア／函館市青少年研修センターふるる函館／中島れんばいふれあいセンター／函館市総合福祉センターあいよる21／函館市勤労者総合福祉センターサン・リフレ函館／亀田交流プラザ／どさんこ交流テラス（東京 有楽町）

『はこまち通信クーポラ』に関するご意見、ご感想をお寄せください。HPにメールフォームがございます。

次号は1月4日発行予定です（年4回）



Hakodate Community Design Center vol.62 2022年10月

※月に一度平日開催

市民と移住者の集い まちセン茶論 サロン

参加者同士が顔見知りになり、交流を図る場としてお気軽にご利用ください。はこだて暮らしコンシェルジュ谷口がみなさんのご相談に応じます。
参加費無料です。

【今後の予定】

10月11日(火)
11月 8日(火)
12月13日(火)
時間/13:30～14:30



▲感染症対策をとりながら開催しています



▲
主催する
移住サポートセンターの
最新情報はこちら



2022年7月～2023年3月31日(金)(予定)

コワーキングスペースとして利用OK

ワーケーションとは…「仕事(Work)+休暇(Vacation)=ワーケーション」
函館市はワーケーションを推進しています。
函館への移住を検討中のみなさん、函館で休暇を楽しみながら新しい
働き方を試してみませんか。

詳しくは函館市経済部「ワーケーション in 函館」を
ご覧ください。

ワーケーション
in 函館▶



まちづくりセンターも
「ワーケーション利用可能な施設」の
ひとつに選定されました▲

「移住サポートセンター」が取材を受けました 動画公開中!

「はこだて西部まちづくRe-Design」が西部地区の人を紹介する
「函館西部地区ニュース」2022年7月23日Vol.12をどうぞご覧ください。

はこだて西部まちづくRe-Design 公式YouTubeチャンネル▶



移住サポートセンターの役割と、
はこだて暮らしコンシェルジュ谷口を
ご紹介いただきました▲

「はこまち通信クーポラ」のクーポラとは?

教会などの屋根上部に取り付けられた半球型の構造物を指します。
1923(大正12)年に建てられた旧丸井今井呉服店函館支店をリノベー
ションし2007年にオープンした地域交流まちづくりセンター。その外観
を印象づける『クーポラ』を、広報誌名でも使用しています。





防災力を高めるには

休みの日は温泉でリラックスするという方も多いのではないでしょうか。私たちが温泉に入るのは、火山や地下水のおかげです。日本は、火山にも地下水にも恵まれているので3,000以上の温泉地があるそうです。

この火山、普段は私たちに温泉などの恵みをプレゼントしてくれますが、一方で噴火の危険とも背中合わせです。有珠山は約30年に一度の噴火をしています。前回の噴火が2000年だったので、周辺では防災の取り組みを進めています。大沼駒ヶ岳も、噴火への備えは欠かせません。噴火以外にも、大雨や台風、地震・津波・大雪…私たちは、多くの自然災害のすぐそばで生活しているとも言えます。

では災害への備えとは、具体的にどのようなことが必要でしょうか。科学的な観測による予知や、避難に必要なインフラの整備はもちろんですが、いざという時の避難等に最も効果を発揮することは、日頃からの地域でのつながりや意識の高さだと思います。自分のまちのことを自分たちで良くしていくんだという気持ちも重要です。

災害への備えは、徒労に終わるのが理想的。空振りを恐れるのではなく、積極的な素振り(経験)を重ねていくことで、防災力を高めて行きたいと思います。



1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間／10:00～15:00
- 定休日／土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。
函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、
布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。



北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録で
ますます人気が高まっています。

1F 喫茶コーナー Cafe DripDrop

- 営業時間／10:00～17:00 (変更の場合あり)
- 定休日／水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか?
- 営業時間など最新情報は
お店のSNSをご覧ください▶



【オススメ】ランチプレート 800円(税込)

トーストに七飯・ななエッグのゆで玉子、ウィンナー、
季節の野菜サラダ、スープのセットです。
食後のお飲みもの付き。

